

言語聴覚学科 教育課程表

別表1-3

	指定規則に定める教育内容	指定規則に定める単位数	学則に定める合計単位数	学則に定める単位数		授業形式	学則に定める授業科目	1学年		2学年		
				単位数	時間数			単位	時間	単位	時間	
専門基礎分野	基礎医学	3	8	1	15	講義	医学総論	15				
				2	30	講義	生理学	30				
				2	30	講義	病理学	30				
				2	30	講義	解剖学	30				
	臨床医学	6	11	1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅰ【基礎医学】			15		
				1	15	講義	耳鼻咽喉科学	15				
				2	30	講義	内科学	30				
				2	30	講義	小児科学	30				
				1	15	講義	形成外科学	15				
				2	30	講義	臨床神経学	30				
				1	15	講義	精神医学	15				
	臨床歯科医学	1	1	1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅱ【臨床医学】			15		
				1	15	講義	臨床歯科医学・口腔外科学	15				
	音声・言語・聴覚医学	3	7	2	30	講義	呼吸発声発語系	30				
				2	30	講義	聴覚系	30				
				2	30	講義	神経系	30				
	心理学	7	12	1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅲ【音声言語聴覚医学】				15	
				2	30	講義	認知・学習心理学	30				
				2	30	講義	生涯発達心理学	30				
3				45	講義	臨床心理学	45					
2				30	講義	心理測定法			30			
言語発達学	1	2	2	30	講義	言語発達学	30					
			1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅳ【心理学】			15			
言語学	2	4	3	45	講義	言語学	45					
			1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅴ【言語学】			15			
音声学	2	4	3	45	講義	音声学	45					
			1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅵ【音声学】			15			
音響学	2	4	2	30	講義	音響学	30					
			1	15	講義	聴覚心理学	15					
			1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅶ【音響学】			15			
社会福祉・教育	2	4	2	30	講義	社会保障制度・関係法規				30		
			1	30	講義・実技	リハビリテーション概論(分譲版理論含む)	30					
			1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅷ【社会福祉・教育】			15			
合計		29	57	57	870			690		180		

専門分野	言語聴覚障害学総論	4	10	2	30	講義	言語聴覚障害学概論	30				
				2	30	講義	言語聴覚障害学診断学	30				
				2	60	講義・実習	コミュニケーション技能演習	60				
				2	60	講義・実習	コミュニケーション障害演習	60				
				1	30	演習	言語聴覚障害学演習	30				
	失語・高次脳機能障害学	6	12	1	15	講義	専門分野特論Ⅰ【言語聴覚障害学総論】			15		
				1	15	講義	I 概論	15				
				2	30	講義	II 失語・高次脳機能障害	30				
				4	60	講義	III 評価	60				
				2	30	講義	IV 訓練			30		
				1	30	演習	V ケーススタディー			30		
				1	15	講義	専門分野特論Ⅱ【失語症学】	15				
	言語発達障害学	6	8	1	15	講義	専門分野特論Ⅲ【高次脳機能障害学】	15				
				1	15	講義	I 概論	15				
				1	15	講義	II 自閉症スペクトラム障害	15				
				1	15	講義	III 知的発達障害	15				
				1	15	講義	IV 限局性学習障害	15				
				1	15	講義	V 脳性麻痺・小児嚥下	15				
				1	30	講義・演習	VI 検査・評価	30				
	発声発語・嚥下障害学	9	14	1	30	演習	VII ケーススタディー			30		
				1	15	講義	専門分野特論Ⅳ【言語発達障害学】	15				
				1	15	講義	I 概論	15				
				2	30	講義	II 小児系発語障害	30				
				2	30	講義	III 成人系発語障害	30				
				1	30	演習	IV 成人系発語障害			30		
				2	30	講義	V 摂食嚥下障害	30				
				1	30	演習	VI 摂食嚥下障害			30		
				1	15	講義	VII 音声障害	15				
				1	15	講義	VIII 流暢性障害(吃音を含む)	15				
聴覚障害学	7	8	1	30	演習	IX ケーススタディー	30					
			1	15	講義	専門分野特論Ⅴ【発声発語障害学】	15					
			1	15	講義	専門分野特論Ⅵ【摂食嚥下障害学】	15					
			1	15	講義	I 概論	15					
			2	30	講義	II 成人聴覚障害	30					
			1	15	講義	III 小児聴覚障害	15					
			1	15	講義	IV 小児聴覚障害	15					
臨床実習	12	15	1	15	講義	V 補聴器・人工内耳	15					
			1	15	講義	VI 視覚聴覚二重障害	15					
			1	15	講義	専門分野特論Ⅶ【聴覚障害学】	15					
合計		44	67	67	1545			705		840		

総合計	合計		1学年		2学年	
	単位数	時間数	単位	時間	単位	時間
	124	2415	79	1395	43	1020

注) 講義1単位15時間、演習1単位30時間、実習及び実技1単位30時間、臨床実習1単位40時間とする。

注) 講義は前・後期制。1コマの授業は100分とする。

注) 「コミュニケーション技能演習」、「コミュニケーション障害演習」のうち実習は、病院または診療所、老人保健施設、老人福祉施設等で行うものとする。

注) 臨床実習のうち、「実習Ⅰ(評価実習)」は病院または診療所、老人保健施設等の実習地で行うものとする。

注) 臨床実習のうち、「実習Ⅱ(臨床実習)」は「病院または診療所にて320時間」「老人保健施設・難聴児通園施設・ことばの教室等にて160時間」を行うものとし、計480時間の実習を行う。